

第2回三重県人材確保対策推進会議 概要

- 1 開催日時：令和6年11月20日（水） 14時35分～14時50分
- 2 議事概要：以下のとおり

（小見山政策企画部長）

- ・ 第2回三重県人材確保対策推進会議を始める。
- ・ 本日の会議は、三重県人材確保対策推進方針（仮称）（中間案）について確認いただくため開催するものである。
- ・ 事務局から説明させていただく。

※ 資料1、2について、事務局（世古次長）から説明

（松下雇用経済部長）

- ・ この方針について、雇用経済部はたくさんの部分で関係している。
- ・ 特に2点あり、1つ目はカスタマーハラスメント防止対策である。誰もが働きやすい職場環境づくりについて、条例の制定やガイドライン、指針の準備をしているところである。業界向けのものも用意していく必要があるので、各部局の協力もお願いしたい。
- ・ 2つ目は、外国人の受入れについてである。国際間、また、国内でも競争がある中、事業者からの要望が非常に大きいということもあるため、危機感を持ち、しっかりと関係部局と連携しながら取組を進めていきたい。

（竹内環境生活部長）

- ・ ジェンダーギャップの解消について、キャリアを継続できる働きやすい環境づくりに向けて、企業への働きかけや女性の労働者の方との交流会を行っているところである。引き続き、取組を行っていきたい。
- ・ 多文化共生の推進については、多言語での情報発信や相談窓口のご意見をいただいている。引き続き、更なる充実に取り組んでいきたいと考えているが、いろいろと連携しながら取り組んでいく必要がある部分が多いと思うので、引き続き協力をお願いします。

（長崎地域連携・交通部長）

- ・ 物流については、2024年問題があり、運輸業は人手不足の割合が高くなっているという状況にある。国の関係機関や関係団体と連携をしながら、物流の担い手確保に向けて取り組んでいく必要がある。

- ・ バス、タクシーなどの運転士不足については、交通事業者等と連携して確保に取り組んでいきたい。また、公共ライドシェアの導入などに取り組む市町への支援を充実・強化していきたいと考えている。
- ・ 移住については、今年度に行った三重県での暮らしについてのアンケートの結果をふまえて、移住希望者のニーズや特性の区分に応じたアプローチをして、さまざまなプロモーションに取り組んでいきたいと考えている。

(松浦医療保健部長)

- ・ 働き方改革が始まる前から、医療人材、介護人材の不足が叫ばれており、取組を進めてきたところである。
- ・ 特に医療人材については、医師、看護師、助産師、保健師、薬剤師といった複数の人材の確保に取り組んでいる。総数のほか、地域偏在や診療科偏在の課題もあるところである。
- ・ 国で議論が進められているが、病院協会や医師会からも要望が出てきており、県としてもさらに加速化して取組を進めていきたいと考えている。
- ・ 高齢化社会がますます進むということで、介護人材の不足も進んでおり、人材不足等について要望がたくさん出ている。特に外国人の介護人材について加速化して取り組んでいきたい。
- ・ 動画をリニューアルして、県外の医師へのPRを進めているところである。

(一見知事)

- ・ 2点確認したい。保育士については、今どのような取組があって、これからどのように取り組もうとしているのか。
- ・ また、高校生と話をしていると、「三重県にこういう働き場所があったということをおまわり知らなかった。」ということと言われる。今後どのように取り組んでいくのか。

(柘屋子ども・福祉部長)

- ・ 保育士については、現在、社会福祉協議会で潜在保育士を把握していただいて、希望する方に働き場所を斡旋する事業をやっていただいている。今後、拡充していきたいと考えている。

(福永教育長)

- ・ 高校生への地域の企業の紹介については、これまで専門学科を置く高校や就職希望者のいる普通科高校ではかなり行ってきているが、進学希望者の多い高校にはあまり行われていない現状がある。

- ・ 来年度に向けて予算要求をしているところであり、しっかり取り組んでいきたいと考えている。

(松下雇用経済部長)

- ・ これまでも出前講座を行ってきている。現在は求めに応じて行っているのもう少し積極的な形で行うことができると考えている。

(一見知事)

- ・ 政府において103万円の壁の議論がされている。労働力不足を何とかしないといけないというのが根本にある。日本全体が労働力不足に対してどう対応していくのかということを考えないといけない。
- ・ 皆さんにお願いしたいのは3点。1点目は、机上の空論ではなくて、団体のご意見を聞いて、データに基づいた対策をとっていく必要がある。引き続き、団体の皆さん、あるいは企業の皆さんに寄り添った対応をして、効果的な対応策を考えていただきたい。
- ・ 2点目は、女性、高齢者、外国人の働きやすい職場づくりを進める必要がある。三重県はジェンダーギャップが大きいと言われていて、女性が働きにくいのではないかと話もある。特に外国人の関係はどの県でも外国人労働力が必要ということで地域間競争になっているため、三重県が選んでもらえるにはどうしたらいいのかということを考えないといけない。
- ・ 3点目は、人手不足倒産というのも起こっており、人材確保対策はスピード感が求められるところである。予算措置が必要であれば来年度予算というものもあるし、それを待ってられないというものについては、補正予算も念頭に置いて対応いただきたい。